大阪大学体育会弓道部 新型コロナウイルスの感染対策

道場利用制限：知静堂、志在館ともに 10 人を超えた場合、2 時間まで

人数が多くなり、密となることが無いように配慮しながら利用するようにしてください。
新入生に接触を伴う指導を行うときは手袋等をして行うようにしてください。
体調管理 ・練習参加日の朝、各自体温を計測し、以下の体調チェックリストを用いて自己の体調を確認してください。
知静堂と志在館にその日の体温と使用した時間帯を記入する用紙を準備するので必ず記入するようにしてください。
また少しでも体調に違和感がある場合は練習を控えるようにお願いします。

【体調チェックリスト】
Ⅰ.利用当日の体温が 37.5℃以上である。
Ⅱ.利用 2 週間において以下の事項に該当する
・平熱を超える発熱がある
・咳、喉の痛みなど風邪の症状がある
・だるさ、息苦しさがある
・身体が重く感じ、疲れやすい等の症状がある
・嗅覚や味覚に異常がある
・新型コロナウイルスで陽性とされた者との濃厚接触、感染が著しく拡大している国や地域への渡航または当該在住者との接触がある

・体調チェックリストに該当する箇所がある場合、副将に連絡し練習は行わない。
・練習中に体調が悪くなった場合、速やかに副将に連絡し、その日の全ての練習を中止する。 ・練習後に体調が悪くなった場合、速やかに副将に連絡し、指示を仰ぐ。
・本人が濃厚接触者の特定を受けないが、濃厚接触が疑われる場合、速やかに副将に連絡し、指示を仰ぐ。

【登下校】
・個人で登下校し、マスクを着用する。
・集合、解散時の挨拶は行わない。速やかに準備、または帰宅する。
・帰宅後は手洗い、うがいを徹底し、練習時に着用した衣服は着替える。
・**登下校途中の集団での会食は行わない。**

【練習前】
・道場に入る前には手を洗い、手指の消毒を行う。
・部室の利用は原則禁止とするが、荷物を取るための入室は許可する。なお１度に部室に入ることのできる人数の上限は３人とする。
・各々利用する矢箱を決め、その周りに荷物を置いて速やかに練習を開始する。
・窓、入り口は常に開け、換気を徹底する。

【練習中】
（１）身体接触について
・練習の際は社会的距離（約 2m）を取り、集団行動を控える。
・　指導する際は社会的距離を保つようにする。
（２）用具について
①部の用具
・現在使用している弓袋は、当面の間各自で管理する。
・弓を変える際は、握り革をはがす。
・的、串、安土整備道具は消毒が難しいため触った後は手洗い、手指の消毒をする。
②個人の用具
・2m 以上開けて管理をする。
・他人の用具の共有を禁ずる。
（３）会話について
・行射中以外は必ずマスクを着用する。また、行射中のマスク着用は個人の判断に任せる。
・事故防止、安全確保のための声出しは行う。ただし、緊急時でなければマスクを着用して行う。**指導を除く私語はなるべく控える。**
（４）休憩について
・社会的距離を保って休憩する。
・休憩場所は個人の荷物が置いてある場とする。
（５）その他
・練習中は極力同じ的を使用する。
・　練習後、安土整備後は手洗い、手指の消毒を行う。
・練習後、備品、道場施設の消毒を行う。消毒箇所は以下を参照。
・シャッター
・矢立て
・窓、扉
・照明、扇風機のスイッチ　・その他人の触る箇所

文責：大阪大学体育会弓道部幹部